

若手フォーラム & 見学会

「歴史と伝統のものづくりタウン北九州 過去から現在 その産業空間形成の歴史と今」

日 時：平成 24 年 11 月 4 日(日) 15:00～21:30

会 場：【若手フォーラム】北九州国際会議場 2階 国際会議室(第 63 回連合講演会 第 4 会場)

【見学会】北九州市内 (若手フォーラム会場より引率します)

主 催：日本塑性加工学会九州支部 九州若手研究会

趣 旨：北九州は、明治時代の石炭積み出し港湾の埋め立ておよび官営八幡製鉄所の創業以来、素材産業を中核としてわが国の近代化と戦災復興を支えてきました。そして環境都市となった現在、今なお工業施設の集中した風景が魅力的な観光資源として再解釈されています。今回は、北九州における洞海湾を中心とした産業空間の形成の歴史とその風景の現代的魅力についての講演と、現在の話題として、最近、テレビ番組「ほこ×たて」でもご活躍の北部九州の企業若手技術者による講演を企画しました。

講演会の後には、昼とは異なる表情を見せる大規模なものづくり現場を、工場群の夜の景観として観賞する工場夜景観賞ツアーに出発します。

プログラム：

【若手フォーラム】

司会 琉球大学 末吉 敏恭君

1. 講演会 **【講師のご紹介と講演内容については、3, 4 頁をご参照ください】**
 - (1) 「北九州の近代産業空間史と風景」トレイルバックス 仲間 浩一君 (15:00～16:20)
 - (2) 「九州で生まれた最強金属とそのコア技術」日本タングステン(株) 中川内 浩二君 (16:20～17:00)

【見学会／工場夜景観賞ツアー】 **【ツアーの概要については、5 頁をご参照ください】**

2. 見学会ツアーバス乗り場に移動 (講演会場から引率します) (17:00～17:30)
バス移動 (17:30～18:30)
3. 洞海湾チャータークルーズ (18:30～19:30)
4. 工場夜景観賞ツアー (途中、観賞スポットでの下車見学も行います) (19:30～21:30)
小倉駅新幹線口にて解散 (21:30 頃)

定 員：【若手フォーラム】80 名 【見学会】45 名 (定員になり次第、締め切ります)

参加費

- ① 「講演会」のみ参加の方：無料
 - ② 「講演会」と「工場夜景観賞ツアー」に参加の方：下記の参加費用
 - ③ 「工場夜景観賞ツアー」のみに参加の方：下記の参加費用
- | | |
|-------------------------|---------|
| 正会員 (賛助会員および共催、協賛学協会含む) | 4,000 円 |
| 学 生 | 2,000 円 |
| 上記以外 | 6,000 円 |

[支払い方法]講演会当日,総合受付に設けた「若手フォーラム受付(受付時間 9:00~14:00)」
で現金にてお支払いください。

申込方法:[事前申し込みをお願いします] E-mail もしくは FAXに「第63回連合講演会 若手フォーラム&見学会」と題し,(1)氏名,(2)勤務先・所属,(3)連絡先(郵便番号,住所,電話,FAX,E-mail),(4)会員資格(正,学生,賛助,共催学会,協賛学会,非),(5)参加内容[①講演会のみ,②講演会と工場夜景観賞ツアー,③工場夜景観賞ツアーのみ]を明記の上,お申し込みください。

申込先:〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
佐賀大学大学院 工学系研究科
機械システム工学専攻 森田 繁樹宛
電話:0952-28-8607 FAX.0952-28-8587
E-mail: morita@me.saga-u.ac.jp

申込〆切:平成24年10月10日(水) → **10月31日(水)まで延長します**

*申し込みに際して,年齢制限はありません。

*「講演会のみ参加」の方は,会場入口での当日受付でも聴講可能ですが,できるだけ事前申し込みをお願いいたします。

*【見学会/工場夜景観賞ツアー】では,食事の時間は設けていません。ツアーに携行いただく軽食のみ準備しています。

問合先:新日本製鐵(株) 技術開発本部 八幡技術研究部
和田 康裕宛
E-mail: wada.yasuhiro@nsc.co.jp

若手フォーラム講演会

「北九州の近代産業空間史と風景」

トレイルボックス 仲間 浩一

概要： 北九州は、明治時代の石炭積み出し港湾の埋め立ておよび官営八幡製鉄所の創業以来、素材産業を中核としてわが国の近代化と戦災復興を支え、環境都市となった現在も、工業施設の集中した風景が観光の魅力的な資源として再解釈されています。この講演では、洞海湾を中心とした産業空間の形成の歴史とその風景の現代的魅力についてお話しします。



1. 北九州の風景
2. 洞海湾の近代化ー洞海（くきのうみ）から洞海湾へ
3. インフラの集中と高度経済成長の看板
4. 工業景観の魅力の秘密ー機能を超えて

<講師ご略歴>

- 1963年 福岡県北九州市八幡区（当時）に生まれる
- 1986年 東京工業大学 工学部 社会工学科卒業
- 1988-89年 フランス政府給費留学生（パリ第4大学地理学研究室）
- 1992年 東京工業大学大学院 理工学研究科博士課程 社会工学専攻修了
- 1992年 東京工業大学 工学部 社会工学科 助手
- 1995年 九州工業大学 工学部 設計生産工学科 准教授
- 2007年 九州工業大学 工学部 建設社会工学科 教授
- 2012年 九州工業大学を退職し “トレイルボックス” 設立

（これまでに取り組まれたプロジェクト等）

- 「北九州市の土木史」編集委員および執筆
- 文部科学省 現代的教育ニーズ取組支援プログラム
“九州工業大学工学部における地域支援型インターンシップ”
- 大分県山国川青地区・景観整備検討プロジェクト委員
- 熊本県杖立景観整備基本計画・杖立ラボ運営支援プロジェクト委員
- 福岡県博多区冷泉まちみちづくりプロジェクト委員
- 福岡県福津市立津屋崎小学校環境学習支援プロジェクト
- 北九州市・福津市・那珂川町 都市計画審議会委員
- 関門景観審議会委員
- 北九州市景観アドバイザー

若手フォーラム講演会

「九州で生まれた最強金属とそのコア技術」

日本タングステン(株) 中川内 浩二

概要： 弊社は社名にある通り、電球などのフィラメントに使用されるタングステンの製造からはじまりましたが、現在では粉末冶金技術を応用した接点材料、さらに超硬合金やセラミックスなどの耐摩耗材料の製造もしている九州の金属素材メーカーです。一昨年より、フジテレビ番組「ほこ×たて」にて、弊社の耐摩耗材料が「絶対穴の開かない金属」としてドリルメーカーの「どんな金属にも穴がけられるドリル」と 5 回対戦し、4 勝 1 分の好成績と予想もしなかった大きな反響を頂きました。この講演では、テレビ番組収録の中で誕生した「絶対穴の開かない最強金属」の話やその誕生のベースとなった弊社のコア技術・材料・応用製品などについてご紹介したいと思います。



1. 日本タングステン(株)会社紹介
2. 穴の開かない最強金属が誕生するまで・・・
3. 弊社のコア技術紹介
4. テレビ出演を通じて感じたことと今後について

<講師ご略歴>

1981年 佐賀県 嬉野市 塩田町に生まれる
2005年 九州工業大学 工学部 物質工学科 卒業
2005年 日本タングステン株式会社 入社

(これまでに取り組まれた開発等)

入社から 8 年、ずっと超硬合金製品に携わって参りました。主な業務は、超硬合金の新材料開発や製造技術、品質管理、また製造工程における問題点の改善活動、新商品開発など、原料から製品出荷、商品化まで超硬合金製品のすべての過程で、幅広く関わらせていただいております。今回の TV では、絶対穴の開かない合金というニーズに対し、うまく応えられたように、今後もお客様のニーズを柔軟に受け止め、新商品や新技術を提供できるよう努力したいと思っております。

申込方法については、このファイルの
1～2 頁をご覧ください。

工場夜景観賞ツアー



洞海湾沿岸の風景(イメージ)

- [集合時間と場所] 平成 24 年 11 月 4 日(日、講演会初日) 17 時 第 4 会場(北九州国際会議場 2 階 国際会議室)
- [ツアーコース] 北九州国際会議場 → 若戸トンネル(平成 24 年 9 月 15 日開通) → 若松渡場
- 洞海湾チャーター船クルーズ(約 1 時間、湾岸のコンビナート群を海上から観賞します) → 若松渡場
 - 若戸大橋(開通 50 周年) → 黒崎コンビナート地区(車窓から) → 小倉西港地区(下車して観賞)
 - 小倉駅新幹線口にて解散(21:30 頃を予定)